

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2011年09月30日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2009000082"/> 整理番号 <input type="text" value="11432"/> 担当者 <input type="text" value="峯崎 隆司"/>
表 題	<input type="text" value="回転円板を使用した軽金属材料の摩擦接合"/>
技術分野	<input type="text" value="機械・加工"/> <input type="text" value="金属材料"/> <input type="text" value="接合"/> <input type="text" value="薄板"/>
適用製品	<input type="text" value="電子・電気機器筐体の接合, 薄板の接合, 異種材料の接合"/>
目 的	<input type="text" value="電子・電気機器の筐体などには軽金属材料主としてアルミニウム合金やマグネシウム合金の薄板が使用されており、特に軽量化のために薄肉化されてきており、薄肉材料の接合は従来の溶融溶接では困難を伴う。レーザー溶接などによる研究が進められているが、機器が高価な上に条件設定が難しいなどの問題がある。"/> <input type="text" value="このような薄板を使用した製品の組立に回転円板を使用した摩擦接合の適用を目的とする。"/>
技術概要	<input type="text" value="回転円板を使用した摩擦接合は、古くから実用されている摩擦圧接や最近注目されている摩擦攪拌接合(FSW)と同様に固相接合であり、接合雰囲気を選ばず大気中で容易に施工可能な方法である。また、設定条件も回転円板の回転数と押込量及び接合速度とその方向のみであり、施工に際して熟練を要しないなどの特徴を有している。固相接合では異種材料の接合も可能となる。"/> <input type="text" value="接合機には横フライス盤のように円板を回転する機能と被接合材または回転円板を接合線に沿って移動できる装置を備えていればよいので機器も安価に作成できる。また、接合時には被接合材以外の素材を必要としないので金属学的にも経済的にも有利である。アルミニウム合金やマグネシウム合金の接合では回転円板の材質はステンレス鋼や、工具鋼など比較的安価な素材を利用できる。"/>

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp